

<b>1. 評価対象事務事業</b>		シート作成日	平成25年7月19日
事業名	在宅高齢者福祉サービス事業	担当課・係名	福祉課高齢福祉係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	24
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

**2. 事業の概要**

目的 (何のために)	高齢者に対し各種福祉サービスを提供し、生活を支援する。				
対象 (誰を・何を)	概ね65歳以上の高齢者				
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期入所事業/自宅での生活が困難な要介護認定のない高齢者に対し介護老人福祉施設等に短期間宿泊させる。</li> <li>・緊急通報システム/独居等の高齢者に対し緊急通報システムの設置、お元気コール等により安否の確認を行う。</li> <li>・ホームヘルプサービス/一時的な体調不良や退院直後等の短期間、日常生活援助を行う。</li> <li>・高齢者理美容サービス費助成/外出困難な高齢者等に対し、訪問理美容サービスに係る費用の一部を助成する。</li> </ul>				
根拠法令・条例等	大磯町在宅高齢者生活支援ショートステイ事業実施要綱、大磯町在宅高齢者等緊急通報システム事業運営要綱、大磯町在宅ひとり暮らし高齢者等軽度生活支援サービス事業実施要綱、大磯町在宅高齢者等訪問理美容サービス助成事業実施要綱				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,359	1,451	1,711
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,359	1,451	1,711
	職員人数 (概算職員数)	人			0.43
	人件費計 (b)	千円			2,635
総事業費 (a)+(b)	千円	1,359	1,451	4,346	
事業費内訳 H 25 年度	委託料：1,665千円      負担金補助金及び交付金：1千円      扶助費：45千円				

**3. 指標値の推移**

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 満65歳以上高齢者数	人	8,840	9,293	9,664
	②				
活動指標 (活動量)	① サービス利用者数 (実数)	人	64	75	71
	②				
成果指標 (達成度等)	① 利用者対前年比伸び率	%	108	117	95
	②				

#### 4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	個人の身体状況、生活状況を把握している町が実施することで、それぞれの町民に必要なサービスを収入状況に合った自己負担で提供することができる。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	(緊急通報)事業を委託することで、24時間体制できめ細かい対応が可能である。(訪問理美容助成)協定書を締結した町内又は近隣事業者の中から希望する店舗での利用が可能。(ホームヘルプ)事業を委託することで、利用者の希望に沿ったサービスが提供できる。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	在宅で暮らす高齢者の安全で安心、衛生的な生活に寄与できている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	妥当な単価で委託ができています。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	必要なサービスの提供にかかる妥当な単価であるため。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い(休止・廃止)	<b>評価理由</b> 在宅高齢者が安全に生活するため必要なサービスの提供であるため。訪問理美容については、実績が伸びていないため、必要な高齢者が利用できるよう広報を図る。

#### 5. 改革・改善の方向性 (平成 26 年度以降)

① 改革・改善への取り組み
利用率の低いサービスは、必要とされる方に行き届くよう積極的な周知に努める。 またサービス内容については利用者に聞き取りを行うなどの方法によって、随時見直しを図る必要がある。
② 平成26年度に着手する事項
継続利用が見込まれる緊急通報システムと訪問理美容助成については、利用者の要望を聞き取りサービス内容の改善の必要性をみる。 緊急措置として提供する短期入所事業とホームヘルプは広報や冊子、ホームページの案内により周知に努める。
③ その他(課題、調整事項等)
なし。

#### 6. 平成26年度事業への取組み状況(改善内容等)

緊急通報システムについては、地区の民生委員からの紹介で利用を希望されるケースが増え、システムの普及が進められている。 短期入所事業、ホームヘルプ、訪問理美容については、制度を広報、冊子、ホームページで周知することにより、必要な方が必要なときに利用できるよう備えている。
---